科目ナンバー	AR-1-022-hp 科目名 Honors Meeting II											
教員名	西舘 崇				開講年度学	期 202	20年度 後期		単位数	1		
概要	本授業は、オナーズ・プログラムの一貫として開催されるクラスであり、1年生から4年生までのGlocal Honors生が一同に会し、それぞれの学びの深化を図ると共に、グローカル・リーダーとしての資質を、主に(1)各オナーズ演習での課題等を協働して取り組むこと、(2)各種テーマにつき学生が主体となった討論を行うこと、(3)学内外への発表・報告などの準備を上級生と下級生が互いに相互検討・精査しながら行うこと、によって身につけます。オナーズミーティングIIでは、本学園の基本理念である「共愛・共生の精神」を学びつつ、国内外の幅広い知識に触れることで、グローカルな思考を総合的に学ぶことを補足することを中心に行います。また本演習では、上級生らと共に、3年次、4年次に行われるゼミ学習へ向けての基礎として、物事を筋道立てて考える方法や、数字を用いての分析技術など、課題設定及び課題解決に必要なスキルについて、実践的かつ主体的に学びます。											
到達目標	オナーズミーティング  の到達目標は、(1)グローカル演習 における課題を確実にこなしながら、履修者個々人の問題意識・問題関心を深めることができる、(2)上述(1)の過程において、異なる学年の学生たちとの学び合いを通して、関係を構築する力や協働する力を身につけることができる、(3)履修者個々人のグローカルオナーズ生としての目標を実現すべく、問題に対応する力(分析し、思考する力、構想し、実行する力、実践的スキル)をさらに磨くために、協働して課題発見・課題解決へ向けた学習に取り組むことができること、の3点です。											
「共愛12の力」との対応 識見		自律する	<del></del>		コミュニケーション力 問			 問題に対応する力				
共生のための知識		自己を理解する力			伝え合う力				」、思考するカ ○			
共生のための態度		自己を抑			協働する力				実行する力	$\bigcirc$		
グローカル・マイ ンド		主体性		0	関係を構築	するカ		実践的ス				
教授法及び課題の フィードバック方 法	本授業は、グローカルオナーズ生全員が主体的に演習の内容・中身を作り、自分たちで毎週の学修活動 を行うものです。											
アクティブラーニン	<b>ブラーニン</b> グ		サービスラーニ		グ		課題解決型学修					
受講条件 前提 科目		受講条件は、(1)グローカル・オナーズ生として入学した者、あるいは(2)入学後における履修選抜試験に合格した者、です。										
アセスメントポリ シー及び評価方法	オナーズミ	オナーズミーティングにおける活動内容や学修状況、成果物を総合的に判断し、評価します。										
教材	文献・資料などを適宜紹介、配布します。											
参考図書	文献・資料	文献・資料などを適宜紹介、配布します。										
内容・スケジュー ル	学修活動内	学修活動内容については、学生とTA、指導教員との間での話し合いにより決定します。										

Number	CAR-1-022-hp	Subject	Honors Meeting II						
Name	西舘 崇(Nishitate Takashi)	Year and S emester	Second semester for 2020	Credits	1				
Course O utline	This class is designed for all honors students—from first-year students to seniors. It encourages students to help each other learn in the honors program, acquire basic academic skills, and design and carry out research papers and presentations. The honors students meet and work together in one classroom. Senior students are expected to act as teachers and coaches since no professor is assigned to this class.								